

2017 年 5 月 22 日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<https://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106
アウディ コミュニケーションセンター

SUPER GT 第 3 戦、2 台の Audi R8 LMS が熱戦を繰り広げ共に完走

- ・ Audi Team Hitotsuyama は予選 19 位、決勝は最後まで諦めないレースで 13 位に
- ・ Team TAISAN SARD は予選 25 位から追い上げ、14 位完走でレースを終える

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は新型 Audi R8 LMS で SUPER GT の GT300 クラスに挑戦するカスタマー（プライベート）チームを支援しています。5 月 20 日（土）、5 月 21 日（日）、オートポリス（大分県 1 周 4,674m）で 2017 AUTOBACS SUPER GT 第 3 戦となる「SUPER GT in KYUSHU 300km」が開催されました。

昨年のこのレースは、開催直前に発生した平成 28 年熊本地震により、オートポリスサーキットも施設に大きな被害を受けたため中止となりました。復興を祈念する今大会にも、新型 Audi R8 LMS を擁する #21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と #26 Team TAISAN SARD（チーム タイサン サード）の 2 チームが参戦。2 年ぶりの開催となったオートポリス大会は予選、決勝共に初夏の快晴に恵まれ、九州での開催を待ちわびた多くのファンが訪れました。

Audi Team Hitotsuyama は、今シーズンよりリチャード ライアン選手に加えて、昨年までトップカテゴリーの GT500 クラスに参戦し、GT300 クラスはもとより GT500 クラスでもチャンピオン経験をもつ柳田 真孝選手が加入しています。予選ではタイヤをうまく使いきることができず、Q1 を突破することができませんでした。日曜日の快晴のもと 14 時にはじまった決勝レースでは、第 1 スティントを柳田選手が担当。レーススタート後、すぐにセーフティカーが入るなど荒れた展開となりましたが、ベテランらしく落ち着いて 28 周を走りきり、第 2 スティントのリチャード ライアン選手へとドライバー交代します。その際、タイヤバーストのため緊急ピットインしてきた隣のチームにピット前をふさがれるという不運な事態が起こり、大きくタイムロス。しかしニュータイヤでコースに戻ったリチャード ライアン選手は、最終ラップ直前まで自己ベストを叩き出す気合の走りをみせ、最終ラップでは #26 Team TAISAN SARD に追いつき、2 台の Audi R8 LMS によるバトルを制して 13 位まで順位をあげてレースを終えました。

一方 Audi R8 LMS で 2 年目の参戦となる Team TAISAN SARD は、今シーズンより昨年の GT500 クラスのチャンピオンチームである SARD の野田 英樹監督をチームへ招聘。さらにドライバーラインナップも山田 真之亮選手とジェイク パーソン選手という共に 20 代の若手コンビでの挑戦となります。予選は懸念材料だったトラブルを解消できず、25 位で終えました。しかし、チームの深夜に及ぶ原因の究明により問題を解決することができました。決勝は第 1 スティントをジェイク パーソン選手が、第 2 スティントを山田 真之亮選手が担当。共に上位チームに匹敵するラップタイムを重ねます。特に後半の山田選手は、リチャード選手にも匹敵するタイムを刻み、14 位で完走を果たしました。

Audi Team Hitotsuyama :

一ツ山 亮次チーム代表のコメント

「今回のレースでは、予選でのタイヤに関するミスが非常に残念でした。決勝では初めて第 1 スティントに柳田選手を起用しましたが、それもうまくいきとてもいいタイムで周回を重ねていました。セーフティカーが入ってしまったのはアンラッキーでしたが、トラブルなく前半をクリアして、さあ後半戦というところでピットストップを邪魔される不運な出来事が起きてしまい、挽回することができませんでした。レース中のタイムは上位にも遜色ないものですし、これから夏に向けて菅生と鈴鹿で 2 回のテスト

トがありますので、今後の方向性を見極めて次のレースに臨みたいと思います」

リチャード ライアン選手のコメント

「本当はもっといい結果を期待していましたが、残念な週末になってしまいました。特にこのオートポリスは昨年、地震の影響で走ることができなかったため、新型 Audi R8 LMS にとってはデータがないこともあり、難しい予選になりました。決勝では柳田選手もいい走りをしていたし、私自身も燃料が軽くなった後半はとにかくプッシュし続けました。前に#26 Team TAISAN SARD がいることもわかっていて、チャンスは 1 度しかないと思っていましたが、最終ラップでどうにか追い抜くことができました。とにかくあきらめず、テストを重ねて予選でのパフォーマンスをあげることに集中していきます」

柳田 真孝選手のコメント

「クルマ本来のポテンシャルを考えれば、もっともっと良くないとダメだと感じています。チームはとも頑張ってくれていて、レース中のラップも悪くないのですが、まだまだフィーリングの改善の余地はありますし、さらに Audi R8 LMS のもつ性能を引き出せると思います。予選ではやはり一発の速さが足りないので、タイヤのピークをいかにもっていくかが課題です。いまだんだん良くなっている感触はあるので、テストで開発をさらに進めて、次のレースにつなげたいと思います」

Team TAISAN SARD :

野田 英樹チーム監督のコメント

「土曜日にトラブルが見つかり、予選では結果を残せませんでしたが、その日の深夜にその原因が見つかり、決勝グリッド上でも最終調整しながらどうにか対策することができました。これでかなりいい方向に向かったと思います。ドライバーも自信を持って走れるようになりました。これまでなかなか結果が出なくて苦しんでいましたが、少し光明が見えてきたように感じています。上位チームにも遜色ないタイムで走ることができましたし、とても意味のある 1 戦だったと思います。ただ、これでようやくスタートラインに立てたということであり、常にトップ 10 に入るべくさらに次の段階を目指します」

山田 真之亮選手のコメント

「開幕戦以来、ずっと気になっていたことに関する原因をチームが探し出し、ようやく改善されました。そのおかげでレースは安心して走ることができました。とにかく集中してミスなくコンスタントに走ることを心がけて、上位チームと変わらないタイムでラップすることができましたし、いい流れができつつあると感じています。次はまずトップ 10 を目指して頑張ります」

ジェイク パーソン選手のコメント

「初めて九州を訪れました。オートポリスの印象は、オーストラリアのバサーストにも似ているテクニカルなサーキットでとてもエキサイティングでした。チームはとても努力をしてくれて、タイヤの選択もうまくいき、チーム全体として進化したように感じています。いい傾向が生まれつつあるので、次戦は期待しててください」

SUPER GT 第 4 戦は 7 月 22 (土) ~ 23 日 (日)、宮城県のスポーツランド SUGO (菅生) にて開催予定です。